

平成19年度戦略的研究開発プラン採択課題一覧

番号	実施機関	課題名	研究の概要	(実施年度) 研究費総額	共同研究先
1	工業技術センター	フェルラ酸を用いる糖尿病予防及びその合併症予防素材の開発に関する研究	フェルラ酸を用いてさらに強力な抗酸化作用を示すポリフェノール類(クルクミン、フラボン類などの天然物)を合成し、それらを糖尿病の予防やその合併症予防の効果を動物実験で検証する。最終的には、糖尿病予防等のための健康食品を開発、製造販売する。	(平成19～21年度) 26,251千円	和歌山県立医科大学 築野食品工業(株)
2	水産試験場	「紀州の本クエ」ブランド化に向けたクエ種苗生産安定化技術の開発	種苗生産過程での重要課題である仔稚魚の初期大量斃死について飼育環境、餌料栄養等における最適条件の解明、和歌山県独自の種苗供給システム構築の基礎部分(親魚養成・採卵技術等)についての検討をクエ種苗生産試験および近縁種のハタ科魚類仔稚魚の飼育試験により行う。またクエ稚魚の成長試験を併せて行い、商品サイズへの育成について和歌山県下における最も効率的な養殖方法の検討も行う。	(平成19～21年度) 29,423千円	近畿大学水産研究所 白浜漁業協同組合
3	工業技術センター	ナノ領域材料マーケット支援のための高精度評価法の開発	高圧下で高速・安全に酸分解し、溶液化できるマイクロウェーブ試料前処理装置を用いて、アルカリ金属等とハロゲンを含む化成品中を同時に溶液化する。さらに、濃縮・分離技術を検討し、極めて微量のアルカリ金属およびハロゲン等を高精度に同時定量する方法を確立する。	(平成19～21年度) 12,500千円	
4	養鶏研究所	お米の力でとり健康～体においしい卵・とり肉生産技術開発～	自然素材である米糠抽出物を飼料に添加し飼料の保存性について検討するとともに、採卵鶏およびブロイラーに給与し、生理機能に対する影響を調査する。また、抗酸化性の向上についても調査研究を行う。本研究により、和歌山県産の抗酸化飼料をアピールするとともに、特徴的な機能性畜産物を創出する。	(平成19～21年度) 14,216千円	築野食品工業(株) 宮崎大学 広島大学
5	果樹試験場	旨さ抜群！じゃじゃ馬みかんを作りこなそう	「川田温州」の連年安定生産の阻害要因を、肥培・結実・根域管理を行うことで明らかにし、連年安定生産技術のマニュアルを作成する。	(平成19～21年度) 4,986千円	ありだ農業協同組合
6	暖地園芸センター	品質保証につなぐつぼみ切り催花技術の開発	シュッコンカスミソウ、バラ等をつぼみの段階で切り花し、開花室で出荷適期まで開花させるつぼみ切り催花技術を開発し、日持ち性の安定と品質の向上をねらう。この研究では採花ステージ、催花条件(光・温度・開花溶液等)、開花の進行と植物体の内容成分の変化、収量等を検討する。さらに、県産切り花の花持ち期間の指標を作成し、花持ちの高位平準化を図る。	(平成19～21年度) 4,000千円	近畿大学生物理工学部
7	水産試験場	シラス漁場形成機構の解明と漁業者への情報提供	日々の操業データ(漁場、漁獲量、人工衛星画像、水温、魚群探知機映像)をデータベース化することにより、シラス漁場形成のメカニズムを解明し、最適な漁場を予測するためのソフトを開発する。	(平成19～21年度) 5,000千円	(株)環境シミュレーション (株)マリノリサーチ